

前号が発行されてからはや1年半。この間、驚くべき数の取材を受けるなにわホネホネ団。他の博物館にも同様の標本作製サークルがあるにもかかわらず、なにわホネホネ団の取材数は群を抜く。サークル名が一見おもしろそうなのか、団長が変人だからか。

ホネの大波きた！

掲載・開催日	掲載メディア・会場	記事・講演タイトル	内容
2005年			
7月23日	ギャラリー鈴木	わたしのすきなけもののかたち	西澤団長*松山賢 対談
9月11日	「自然の博物館」を作る会	自然史博物館ってこんなところ	講演会で西澤団長が活動紹介
9月10日	教育大阪Vivo la Vitaーみんなで発信する情報誌	特集「公共施設を楽しもう」	団員・西澤副団長インタビュー
12月18日	毎日新聞	おま 「小骨」本欠けても	活動紹介
12月24日	レマガジン2月号		活動紹介
2006年			
1月12日	朝日放送ABCテレビ「おはようコールABC」		活動紹介
2月	季刊ポテトチップス No.40	骨は宝物！	西澤副団長が活動紹介執筆
2月25日	レマガジン4月号		自然史フェスの出展団体紹介
3月12日	中日新聞	情報たっぷり 動物の骨	
4月6日	日本経済新聞	骨まで愛して標本作り	西澤副団長が活動紹介執筆
5月20日	読売テレビ「大阪ほんわかテレビ」		活動状況紹介
6月11日	おおずぼら (OSAKA ZOO VOLUNTEERS) No. 333	なにわホネホネ団を見学しました	見学体験記
6月13日	朝日新聞 タ刊	標本作り生き様記録	活動紹介
6月24-25日	International Herald Tribune	Slicing and dicing 'mute but informative' animal cadavers gives kids a chance to make discoveries	6月13日朝日新聞の英語版
6月25日	読売新聞	小さな骨の動物園	書評の中で活動を紹介
8月1日	FENCK 8月号	インタビュー 自然界と生きる人 「剥いて分かる骨の宇宙」	インタビュー形式で活動紹介
11月1日	月刊マンション通信紙ウェンディ 209号	私の体験コーナーのコラム 「標本で残す生の価値」	西澤副団長が活動紹介執筆
8月2日	NHK「かんさいニュース1 番」		活動紹介
8月23~29日	共同通信 奈良新聞 (23日) 京都新聞 (24日) 大阪日々新聞 (28日) 中日新聞 (29日)	なにわホネホネ団が活躍	共同通信で各社同じ内容で活動状況を掲載
8月	NHKラジオ 「日曜訪問」		団長インタビュー
2007年			
1月1日	どうぶつと動物園 2007年冬号 (東京動物園協会出版)	ウータンのダフダフ	西澤副団長が活動紹介執筆
1月24日	朝日新聞	骨に学べ	活動紹介
3月	FLASH 3月号		活動紹介
3月15日	毎日放送ラジオ	こんちわコンちゃんお昼ですよ！	団長インタビュー



2005年夏以降の成果品

前号発行から1年半が経過しているので、この間に剥いたものは膨大。
みなさん、よく頑張りました。

2005 年

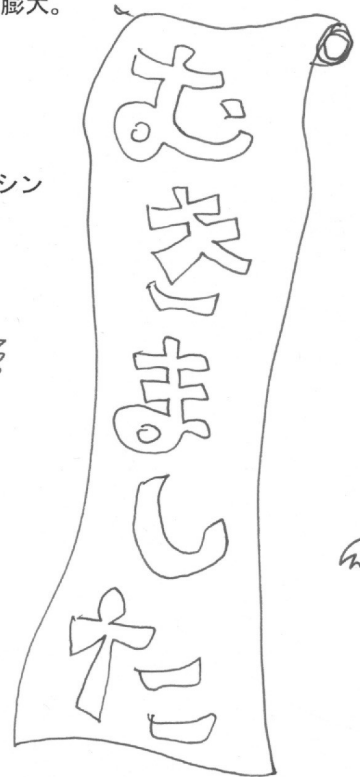
- 9月4、5日 ニホンカモシカ、マレーグマ
- 9月24日 テン、マレーグマ
- 10月30日 カワウ、タヌキ2頭、テン、アライグマ、ハクビシン
- 11月1日 アカウミガメ
- 12月26日 ハイタカ、キジバト、ミツユビカモメ

2006 年

- 1月21日 アライグマ
- 1月22日 アライグマ、ウシガエル
- 2月20日 オオヒクイドリ
- 4月1日 アミメキリン
- 4月4日 アライグマ、アナグマ、タヌキ
- 4月6日 アカウミガメ
- 4月23日 アオバト、タヌキ
- 5月7日 ユリカモメ、テン、タヌキ2頭
- 5月28日 テン、タヌキ2頭、アナグマ、アライグマ
- 6月25日 ハシボソミズナギドリ、ハクビシン
- 8月8日 タヌキ6頭、キツネ、ネコ、アライグマ7頭
- 8月9日 タヌキ4頭、キツネ、ネコ、スローロリス、パン、
- 8月10日 タヌキ5頭、
- 8月11日 トビ、カワウ
- 8月17日 アミメキリン
- 8月20日 タヌキ2頭
- 9月9日 ハシボソミズナギドリ6羽、ドバト、イノシシ、タヌキ
- 10月22日 ウグイス、ズアカエナガ、ヒガラ、キビタキ、エゾムシクイ、ヤブサメ
- 11月3日 タヌキ2頭、ネコ、シカ、アリゲーターガー
- 11月8~11日 アミメキリン
- 11月19日 タヌキ、ルリビタキ、アトリ
- 12月24日 ジョウビタキ、ソウシチョウ、サンコウチョウ、コルリ、メジロ2羽、アオジ、カワラヒワ
- 12月25日 シジュウカラ、ツバメ、ウソ、ハクセキレイ、メボソムシクイ、メジロ、キビタキ、スズメ
- 12月26日 クロジ、オオヨシキリ、キセキレイ、ウグイス、ホオジロ、エゾムシクイ、カワラヒワ、シジュウカラ、ヤブサメ、キビタキ、タヌキ2頭

2007 年

- 1月27日 タヌキ2頭、キツネ、アライグマ
- 2月3日 タヌキ7頭、キツネ、ゴイサギ2羽、スズガモ、ユリカモメ、ハシブトガラス、シジュウカラ
- 2月24日 (岸和田) カワウ、ヒヨドリ2羽、カラス、テン2頭、イタチ2頭、アカネズミ、ハツカネズミ、アブラコウモリ、コウベモグラ、コアジサシ
- 3月24日 タヌキ7頭、アライグマ、ゾウ、キリン、ツグミ4羽、シロハラ、アカハラ、スズメ、アオジ
- 3月31日 タヌキ6頭、キジバト5羽、ヒヨドリ、キジバト2羽
- 4月7日 タヌキ3頭、アライグマ、ドバト、アカハラ、シロハラ2羽、
- 5月11日 ダマシカ、バーバリーシープ



活動風景



2005年9月4日
寄ってたかってマレーグマを解体



2006年11月26日 大阪自然史にて
青少年のための科学の祭典



2005年11月12日 奈良教育大にて
青少年のための科学の祭典



2006年12月16日 和歌山県
ビーチ・コーミング



2006年12月25日
クリスマス会

2006年2月20日
オオヒクイドリ

2006年8月現在のホネホネ団員状況
団員数 64名 (女 40 男 24)
未成年 女 15 男 11
成人 女 25 男 13

2007年4月現在にはなんと
80名に増加!!



ザンゲの骨部屋

昔々あるところに、NとMいう若者がおったそうじゃ。その若者らは部屋で仕事をするでもなく、ブラブラしておったのじゃ。そこに颯爽と流星が如く現れたのが、我が団長！仕事をしないないNらに「そんなに暇なら、なめさないか？」とおっしゃったんじや。ここで出てくる「なめす」とは無論、皮なめしの事。作業は単純。タヌキやテンの皮についている脂肪を、工具のノミやドライバーなどを使ってこそげとり、皮を柔らかくするのじや。その作業が気に入ったNは黙々とテンの皮なめしをしたんじや。時間は・・・そうじやの4時には終わっていったの。そして、ふと顔を上げると一緒になめしとったはずのMがおらんじや。あとで知ったことじやが、Nが気づいたときにはMは帰っていったそうな。そこに残されていたのは、まだほぼ手を付けていないタヌキとNじやった。しかしそのまま皮を置いておくわけにもいかない。Nはやつきになってタヌキ皮と闘った。途中でノミからパン切り機に持ち替えて闘っ

た。だが！その時Nは気づいていなかったのじや。タヌキの顔をなめしてないことに・・・それに気づき、もうそろそろおなか減っていたから、力いっぱいなめしたんじや。。。いま思うと、それが悪かったのかもしれんのお・・・Nは、もう脂肪は取れん。と顔を皮をひっくり返した。するとどうか！タヌキの首あたりに、千円札の半分ぐらいの禿ができておるではないか！！！！ 思わずNは「はうっ！？」と言ったが、時すでに遅し。さすがにこの大きさの禿では、言い逃れができるわけが無い。あえなくNは懺悔部屋の刑に処せられることとなった。

教訓！

裏返した首の毛には

注意せよ！

何事にも先人の失敗は参考にしたものじや。



なにわホネホネ団非公式サイトができました！

なぜ非公式かというと・・・

事務局長が勝手に作って団長と副団長には内緒だから。

Yahoo では非公式サイトが先に検索されるが、Google と Infoseek では野動物病院が先らしい。

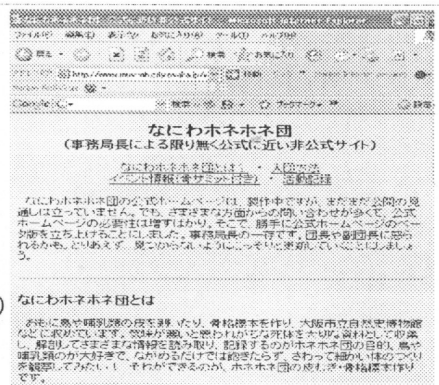
一度お試しあれ。

大阪市立自然史博物館の「和田の鳥小屋」にあります。

(<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/wada/wada-index.html>)

ちなみに野動物病院はこちら

(<http://urano.web.infoseek.co.jp/>)



役員決定！

なんと団長の一声で下記役員が決定しました・・・

大蔵大臣（会計）：■■■■■■■■■■

会計監査：松■■■■幸

通信係：■■■■■■■■■■

今後ともよろしくお願いします。



「パンダの死体はよみがえる」
第一章では「ゾウが死んだ」と動物園から連絡が入る。ホネホネ団的にはもう慣れっこの死体搬入だが、著者はこの突然の作業がいかに大変なものであるかをくわしく語り、「大変な作業でもやらなければならない、なぜな

「遺体科学」の普及本を多数出版している遠藤秀紀シリーズ。この二冊、なにわホネホネ団的にはものすごく気になるタイトル。著者は元国立科学博物館の学芸員で、現在は京大霊長類研究所に勤務し、様々な死体を標本にしてきたそうだ。

ほね本紹介

今回は2冊同時紹介!

「パンダの死体はよみがえる」

遠藤秀紀(著) 700円

ちくま新書

ISBN4-06-149828-2

「解剖男」

遠藤秀紀(著) 720円

講談社現代新書

ISBN4-480-06220-3



ら遺体(死体)は重要な資料だから」と主張する。第二章はパンダの指の構造をレッサーパンダやモグラ、ツチブタと比較し、センザンコウ、オオアリの頭の頭骨を解説する。パンダには第二の親指があることはわりと有名だが、それは橈側種子骨(とうそくしゅしこつ)という手首の小さな骨が巨大化して親指の代わりをしているという。一方レッサーパンダでは、橈側種子骨は小さいままで、しかも他の骨に密着しておらず筋肉の中に浮いた状態になっていることでうまくものをつかめるらしい。第三章は標本がいかに重要であるかを解説。アメリカ大統領セオドア・ルーズベルトの剥製コレクションや忠犬ハチ公の剥製なども上げている。

「解剖男」

構成は「パンダ…」とほとんど同じ。第一章はサイの解体。第二章はハチ公、レオポンなどの有名な個体と、オリジンズミなどの聞いたこともない小形動物の標本の重要性。第三章はキリン、ウマ、オオアリクイなどの骨の解説。第四章が他とは全く違い、「やわらかい遺体」という題がついている。やわらかい遺体とは骨以外の筋肉、神経、内臓などのことで、腐りやすく保存しにくい部分のことだ。本書ではまず、ゾウの腎臓を取り上げている。ゾウの腎臓には線状の裂け目があり、それはホッキョクグマやイルカ、クジラと同じ特徴である。ということではゾウの本来の生息地は…。と骨ではわからないことを「やわらかい遺体」は教えてくれる。この二冊はいずれも標本の重要性を知ってほしいという強い思いから書かれているようだ。私にとってもその思いは同じで、解剖や標本の重要性は普及していきたい。しかし、自己陶酔的で回りくどい文章が多すぎて、一般受けはしないだろうことがとても残念である。二冊をあえて比較するなら、「解剖男」の

第一章が一番ひどい。そこを我慢すれば、ホネホネ団の団員にとってはかなり興味のある本であることは保証する。ちなみに団長いわく、著者は「会って話すと普通の人」らしい。



(高) (よ)

No.37

Name



1993年(H5) 5月24日生まれ
12才。小学6年生です。

血液型はO型。

ホネホネ団には、去年の10月ごろ
入団しました。

すごく楽しくて、勉強にもなります。
今年、中学生になれるけど奈良から
がんばって通います。絶対、対

No.33

奇とい
います。中国
の留学生と
して、去年市
立大学に入
学し、もとも
との専門は
ハタネズミ類の化石ですが、現生哺乳類の
ホネにも興味深いです。それで、ホネホネ
団に入って、色んな動物(特に小動物が好
きです)のホネを勉強になりたいです。日
本語まだまだですから、あまり喋らなくて、
許してね!



さっさと、私
はいいよ、私
も家がある
のだから!

No.25

1992年11月02日生まれ
中1です。大阪府豊中市から来
て、
ホネホネ団には去年入団して
まだまだ素人です。
今年もがんばってない続け
たいと思います!!
よろしくおねがいす!!

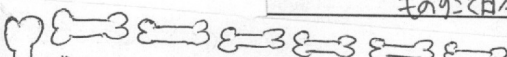
↑ホネホネマイスター

ホネ
ホネ
団



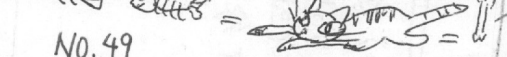
ちやうど
石ころ

死体の神が
ライている!!
お骨拾
てね!!



大甲山の山頂 標高 890m 位の所に
住んでいます。息子(こう)に、ひばられて
ホネホネ団に入団してしまいました。
今や、親の方が熱心かも。今や、料理を
していても、さんぽしていても、骨が気
になーこの辺です。

ナホネ座O型
ナホネ座B型
これから、よろしくおねがいします。



No.49
No.50



No.48

金
きつね
さん
どろろ
解
たい
とか。

こ
も
ド
と
か

滋賀県宇治市のと申す。幼児期、
梅田阪急のデパート地下肉売場の枝肉に魂こら
て以来、いろんな動物のお骨捨いと お骨拾に
日々精進しております。よろしくお願ひにす
まう。

No.36

ホネホネ大使

これってありがとうの団長



No.35



職場で突然団長と運命の出会い。たまたま副団長のアドバイスで
お骨拾に行き…。買ったばかりのワンはわり、サワ入りのカバンを捨て帰られて
気付かない。夜中に湯辛カレーを作って食べる。目が覚めたらかがいてる…。
と、いつの間にか通信係になってしまいました。 神の水かきりべし!

※、ずーっと前に書かれた自己紹介故、みいなの学年がだいぶ昔のになってます。ニギハヤヒ

大学1年の夏、『骨の学校』を読み、ファンになる。
感化されて、衝動のままに、3年前庭に埋めた猫の墓を暴いてしまい、骨の魅力に取り憑かれる。

数カ月前にネットでホネホネ団の存在を知り、入団をもうろみつ自然史フェスに向かう。そこで偶然にも団長に拾われ、めでたく入団と相なった。

ホネホネ団員としてまだまだ未熟者ですが、剥きまくり骨取りまくる覚悟ですので、どうかよろしく願い申し上げます。

No.51



学部名

No.45



通称 **のくん**

生息地 **高槻市 周辺**

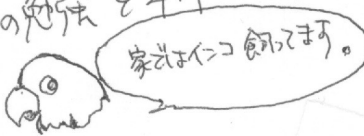
年齢 **27才**

性質・よく寝る
・雑食性
・とろろしい。

好物は、骨とか 奇妙な生物とか
アート系 アニメーション などなど。
(シェンクマイエルの作80は骨がよく使われこのごオスX)



しがとフェスティバルで ホネホネ国を
知りました。 無類の生物好きです。
初体験が大好きなクリンだのためにもしなせ!
骨の勉強と平行して何か作品づくりたいです。



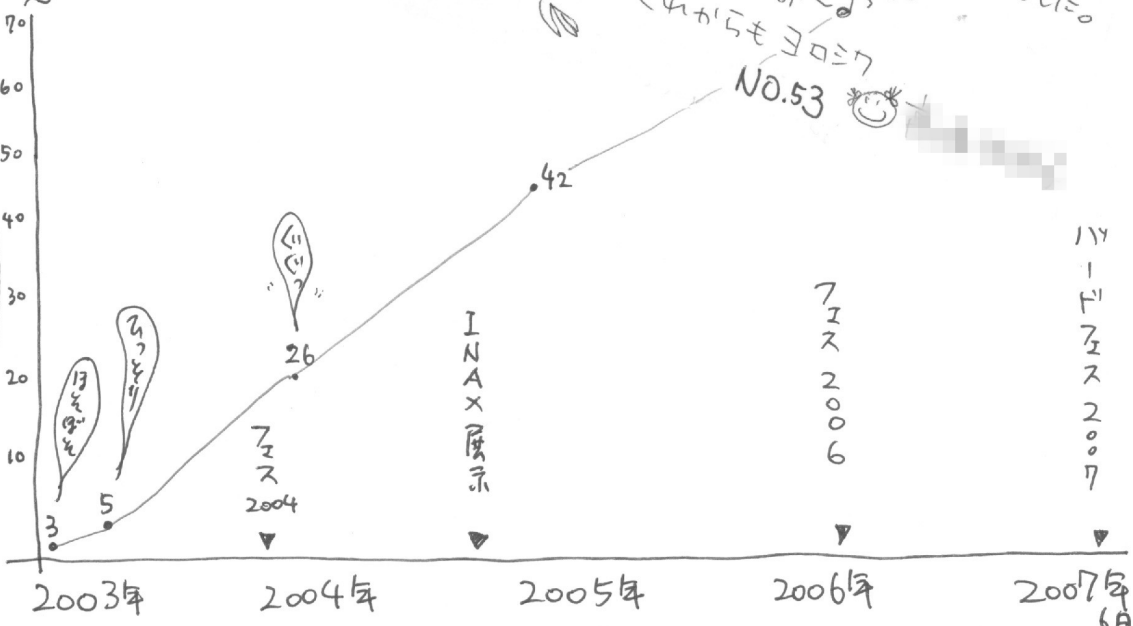
No.54

ホネホネ的 自己紹介

どっさり入団お断り~



血したたる生肉も大好き
だけど...
今日は骨の神秘を感じました。
ホネ最高~
これからもヨロシク
No.53



ホネホネ団の団員こいつにふえたグラフ

◆ 特別寄稿 ◆

野生生物の死体が語ること

奈良教育大学
鳥居 春己

私の車には手術用手袋、大型のビニール袋、アルコール入りの標本瓶など死体採集用具が乗せてある。交通事故などによる野生動物の死体を集めるためである。彼らの死体は多くのことを語ってくれる。それはテレビドラマの刑事物をごらんになればすぐに理解いただけると思う。基本的に野生動物であればなんでも集めていたのだが、タヌキなどは余りに多すぎて、最近では選んで採集している。

では、死体からどんな情報が得ようとしているか標準的なことを紹介しよう。まず、死体が落ちていた場所には、少なくともその種が棲息していることがわかる。例えば、モグラ類の棲息の目撃による確認はほとんど期待できないので、捕獲するしかないのだが、捕獲が難しい。地上に出たモグラ類はすぐに地中に戻らないと餌が獲れなくて餓死してしまう。そのため、時として道路で拾うことができることがある。私は、ミズモグラという貴重なモグラを南アルプス大井川上流で拾っているし、アズマモグラやヒメヒミズも道路で拾ったことがある。このミズモグラは南アルプスでは最初の記録らしいのだ。最近ではノウサギやムササビはDNAにより、地縁性について解析してもらっているのだからどんなに車に踏まれてつぶれていても、皮膚数ミリは採集している。伊勢自動車道では路上のムササビを見つけて、高速道路を後戻りしたこともある。

ここからは、捕獲したシカから得られる標本をもとにした調査について紹介しよう。

三重県猫友会の皆さんには、シカを捕獲した場合に性別や角の形、妊娠の有無を記録いただくとともに、下顎と生殖器の採取をお願いしている。これらはシカの保護管理に必要な最低限の情報なのである。つまり、捕獲したシカの年齢構成と妊娠率を明らかにしようとしている。それにより三重県のシカ個体群がどのような状況、増えようとしているのか、減少傾向にあるのかを明らかにしたいのだが、それには正確な年齢と妊娠の確認が最低条件として必要なのである。



まず、年齢構成を知ること、地域の個体群において老齢個体が多いのか、若い個体が多いのかがわかってくる。例えば、老齢個体が多ければ、個体数が増加するという可能性は低い。逆に若い個体が多ければ、それだけ増える可能性は高いのである。また、年齢別妊娠率はそれぞれ年齢の雌シカのうち何%が妊娠しているかを意味している。例えば、どの年齢でも50%だとすれば2年に1回、66%ならば3年に2回の出産と推定できる。このように、個体数増加要因として重要なのは、初産年齢と年齢別の妊娠率である。何歳まで産んでいるかも重要なのだが、生きている間はほぼ出産しているとみなして間違いはないと考えている。最初に子供を産む年齢が若いほど、出産の間隔が短いほど増加は早くなってくる。三重県では1歳で妊娠する個体がかかりいて、初産は2歳になる。爆発的に増えている地域では3歳以上は90%を超える妊娠率になるという。

日本人を思い浮かべてほしい。近年の日本人は人工減少に拍車がかかっているが、それはなかなか結婚しない、結婚しても子供を少数しか産まないという特徴がある(産めるような社会ではないかもしれないが、その議論はここではしない)。シカに戻って考えると、これらのことは初産年齢が高く、出産間隔が長いことを意味し、個体数は増加しないあるいは減少傾向を示すこと

特別寄稿「野生生物の死体が語ること」

になる。こんなことを知りたくて、皆さんに標本収集をお願いしているのです。

では、皆さんに集めていただいた標本をどのように処理しているかを紹介しよう。下顎は、煮詰めて切歯を抜き、そのうちカルシウムを除いた第1切歯をマイクロームで薄く削って染色し、年齢を調べている。図-1のようにシカの切歯にも年齢ができていく。それを基に年齢構成を知ることができる。さらに、生殖器からは妊娠の有無を確認している。記録票に妊娠の有無を記入していただいているものは、胎児が数ミリしかない妊娠初期の場合、妊娠していないと記録されていることが時として見受けられる。そのため、妊娠の疑われる場合は解剖して検査をしている。増加減少傾向は正確な妊娠の確認が必要なのである。

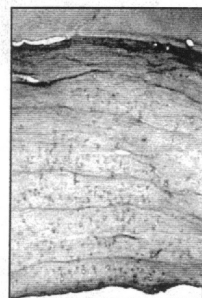


図-1 シカの切歯

餌条件などが悪くなった場合、雌では妊娠率の低下や出産間隔に影響が出てくることが知られている。しかし、雄への影響はほとんど知られていないが、栄養条件の低下などにより精子形成が遅れるか可能性が考えられる。そのため、雄では精巣を集めている。

その他の地域や調査では、下顎骨と生殖器以外に腎臓とその周囲の脂肪、大腿骨、胃内容物、消化管や耳、血液などを採取している。それらの採集部位は皆さんにお願いしている部位と比べるとはるかに多いのだが、それは調査の内容による違いと思っていただいてもかまわない。それらについて簡単に紹介しよう。

腎臓とその周囲の脂肪からは、その個体の栄養状態を知ることができる。栄養状態が良いほど腎臓の周りに脂肪が付いている。春のシカよりは夏の終わりのシカの方が遙かに脂肪が多いことは皆さんが経験されていると思う。腎臓は脂肪採取の基準と脂肪量の比較に用いられる。全身の脂肪量は定量できないので、腎臓重量との比較対照で栄養状態を推定しているのである。大腿骨は割って骨髓を取り出し、重量を計り、乾燥して水分をとばしてから重量を計り直している。軽くなった分が水分なのだが、栄養状態が悪いほど水分が多いのである。

胃内容物はもちろん何を食べているかを調べるのだが、時には胃内容物そのものの蛋白質含有率を調べている。栄養状態が良い個体が多い地域では、胃の中の餌植物も高蛋白とみられる。

消化管などからは寄生虫も検出できるし、皮膚からもそれは可能である。皮膚からはダニなど外部寄生虫も採取できる。このダニからは時には人畜共通症の検出にも用いている。耳などの採取は全身の皮膚を採取できないので、そこが代表することになる。また、下顎骨に付着している肉片から、DNA解析して地域の血縁性などを明らかにしている。それは、各種の被害防止にはシカの密度を低下させる必要があるが、低くさせて周辺地域との遺伝的交流を止めることは避けなければならない。そのため、本来ならば駆除に先だって、どの地域との交流が重要なのかを把握しておかねばならない。血液はDNA解析に用いる他に、最近ではE型肝炎など人への影響の分析手段となっている。

このように死体となった野生動物からは多くのことを知ることができる。それらは、多くの野生動物の地域個体群を安定的に棲息させるための基礎資料であり、狩猟という文化を地域に根ざし、恒久的なものとするためでもある。同時に地域住民の福祉に寄与することを理解してほしい。それらのため、今後も多くの野生動物の調査にご協力いただくこととなると思います、ご面倒をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



よろしくおねがいします。



海

うみがめ

亀



4月ち日、つのは朝から雨。そしてつのはなにホネが、
 団で、友々島に海亀をとりいいく日でもあった。電車で90分ほど
 ゆられ、船で15分ほどゆられ、やと友々島についた。まずゴツゴツ
 の石(電)が出むかえてくれた、そして「ビーチコーミング」開始、しば
 くすると、本題の海亀現る。しかしドロドロにくわっていた、ま
 まるで『半ドロ』(うさちわあ...そのあとよくみてみると、まるで、ア
 メリカのしモーいやらモーえいがのようであった。(ホエー)あきあきあきあき
 思ったのたのだが、なにホネホネ団でオカルトえいがをつくれないう
 か?、まあこれはむりだろ...。そんな事を考えながら海亀にダ
 ヌルリ。とても気持ち悪い...。さあらぬ神にただしなし...。よ
 さあらないよつじしようにと決めたそのあとメシの時間、リス
 のとくせいエビつろイまほ。くりのたまたまをひろった。そのあと海亀
 銀い(ドロ)と血祭り(金)あまりオカルトすぎたのでさあられない。
 というわけで、おき伝いをはじめる。しばらくすると「手のキーな
 人」という声がかこれなら楽しい、あちこち、そちどちから「手の
 キーな人」という声、しかし、いづにング。ドテッ岩の上で
 けた。いつつ...そのあとに亀水が足に、さあ、さあ、さあ、さあ、
 すると、MH団員が「亀ドロ」をふんでしま、た、あちでは并
 に亀水がそちでは足に亀ドロが...海亀の最後の武器
 あった、電車にのせて帰ったが、ちやうアキバ。海亀の二オイが...

亀甲を自負ってよぶふ

和国さん (不気味)



おさえる
なり
流木
亀
カワリス
たが

余談
アカイソがニ...
友々島でアカイソ
カニをぬちくち
ほかく、すあは
みそして、やきカニ
ににして食べた、
カニ10点、みそしる
すあは、100点であ
みんな海亀の死体
をくいていたわ
あるかしくざっ



鹿其

(キリノ)

鹿丹

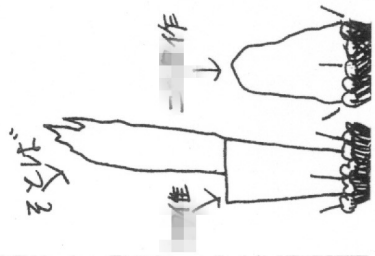
ちがいはる (団長)

06年4月1日、この日はキリノのサキコ♀⁹⁰オをサ、ば
だ、たので、少しだいくつ...。しかし、06年3月30
日にキリノのサキコがせくな、た。こうしてサキコは、

「なにホネニ団」

でさばかれることになる...。3月30日、^ニ団長と
T学芸員がバフバフのサキコ~~を~~^をケイトラ^ニでは、こ
んできた。団長の話によると、^(6月)帰り道にポリハムの
パトカーがしばらく後をつけてきたらしい...。
さいあいにもモウテキは団長&Tさんではなかつた
らしい。そのあとサキコの上にブルーシートをかけ
て、ロープでぐるぐるに、カフスが上をとんでい
たので、^鳥そいつにならないかど、うかがが心配だ、

たが、一日、そのような...とはなかつた。そして、
^{4月1日}10時15分に、キリノのサキコを、はこぶ、
キリノの香い...いや...においは、牛、ぽくあまい
くさくない。意外な...とはやはり、古^鳥。とても
長い。首の骨は一つがとてもでかく、ハニワのよう。
人が多いせいが早くおちた、そして、マイナ...。
骨は、くさらず...とした。お墓もたてて、い、
おあい...



特別寄稿



日本の政府の恩で、特に文部省の奨学金を貰ってる私、今大阪市立大学で留学してます。日中関係が今悪くなってますが、私いつも中日人民友好を祈ってます！それに、日本におる間に、中国人と日本人と、お互いに了解するために、できるだけ多くの日本人の方と話したり、友達になつたりしたいです。

自分の専門は五百万年以來の小さい哺乳動物化石の研究

で、動物の進化とか、分類とか、それと、化石のよる環境の復元とか研究してます。色々な動物の化石を研究すると、すれば、するほど、好きになりました。現生の哺乳動物にも、興味深くなつてしまいました。

でも、化石の研究に、特に小さい動物化石の研究に、一番役立つのは、歯と頭骨です。それ以外、体のホネとか、しっぽのホネとか、役立たないから、研究に入れられません。それで、哺乳動物を研究してると言っても、歯と頭の骨のことしかわかりません。将来に研究者になりたいから、研究者としても、哺乳動物に興味持ちの人とし



ても、気になるでしょう。どうしようかなと思ってるちようどいいところに、「なにわホネホネ団」自分の生活に入つて来ました。何も考えないで、樽野先生に頼んで、紹介して貰つて、ホネホネ団の団員になりました。

入つてから、色々な自分の専門に関する小動物を解剖したり、ホネを作ったりすると、気が付いてないうちに、本読みばかりより、知識を速く頭の中に入つてしまいました。例えば、食虫類の化石を研究していたのに、食虫類はどういう動物であるかよくわかりません。ジネズミとヒミズを解剖してホネを



作つて、食虫類の様子とか、生息とか分かるようになりました。

勉強の上に、ホネホネ団の団員とジュニア団員と一緒に色々なことをやつたりして、日本語の勉強にもなるから、本当に楽しんです。

これからも、ホネホネ団で自分の知識を広げる上に、ホネホネ団の皆様と一緒にホネホネ団の影響も広げるように！



この原稿をかいたのは留学にゆきかた+4日のこと...今でもほんと日本がうきになているぼく。それでも入国...

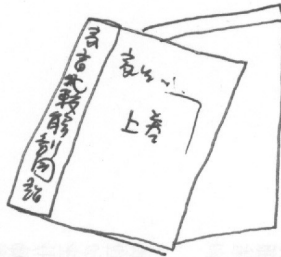
☆ くだ"さい"コーナ ☆

ありが
とう

ホネホネ田へ いろいろお返し ちょうだいしましたー。
ここに書ききれなかつた人 ごエンササイ..いつも
ありがとう!



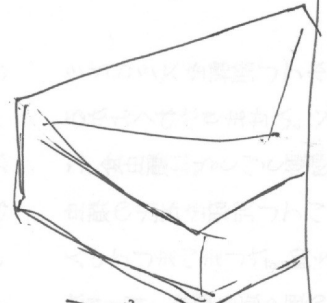
『ホネ針渡りの本』
めざめてい製本さん...
ありがとう



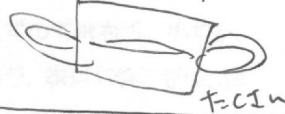
『家畜比較解剖図説』
上、下巻
ありがとう——!



「Xスのかえは」



マスク



コピー用紙

たしさん

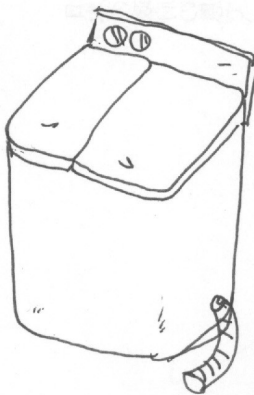


『ホネのガムテープ』

くだ
さい。

こいおモノが 余っていたら ぜん!!!

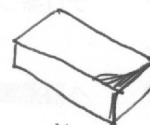
上手な
サヌカ
イ
石
器
皮
たし
に。



◎ニ槽式洗濯機



◎ たべなご美味
期限がちよち
すぎた おやつ



Xスの箱



◎白T
ホロホロ
OK



◎電動ドリル

骨のめたてに使い
ます

白衣のせいたしや

なめし皮の脱乳水に..
なめし液のかわりに...

◎洗剤
毛皮や白衣や
いろいろ洗います

エチゴ"モグ"ラサドモグ"ラ ほしい!!!



◎死体! マスクラット ほしい!
大阪のホエイ哺乳類
ほしい!!!

あつお! というちは

wadat@mus-nh.city.osaka.jp まで!!!

館外活動！

あちこちに遠征しました。「科学の祭典」はお客さんの反応が面白かったですね。

2005年

7月16～17日 三重県 子どもの城 出展

9月11日 「自然の博物館」をつくる会 第一回シンポジウム「自然史博物館ってこんなところ」

11月12-13日 奈良 青少年のための科学の祭典 出展

2006年

4月5日 友が島にウミガメ拾い。詳しくは三輪団員の報告をご覧ください。

11月25-26日 青少年のための科学の祭典 (大阪市立自然史博物館で出展)

11月25-27日 サイエンス・アゴラ ポスター発表

12月16日 和歌山遠征 砂浜でホネ拾いと和歌山県立自然博物館見学

2007年

2月24日 きしわだ自然資料館 遠征皮むき

内容：カワウ1羽、ヒヨドリ2羽、カラス1羽、テン2頭、イタチ2頭の皮剥き。アカネズミ、ハツカネズミ、アブラコウモリ、コウベモグラを液浸標本に。コアジサシ1羽を骨格標本に。その他、自然資料館の見学。岸和田港でゴミ拾い。イベント出展と骨拾い以外の遠征は初めて。

4月13-14日 大阪バードフェスティバル2007に出展。作品展示、クイズ、鳥の仮剥製実演など。

後半の活動：豊橋自然史博で団長がしゃべったり、新潟にいかにも拾いにいったり、淡路島にウミガメほかにいったり、台湾でホネ発表したり、スナドリをむいたりする予定。今年も楽しくがんばるー。



(高橋)

皆様、原稿ください！

編集後記

バードフェスの準備の日、疲れきって泣きだしそうな団長があまりにもかわいそうで、通信作りを手伝ってあげたのが運の尽き。通信係に任命されてしまいました。

通信販売もやってあります。



140円分のセキキ
250円分のセキキ
セキキもお送り下さい。

¥250-

団長本絶賛発売中！
いわゆる団長本、「獣の標本作製ガイド（解剖編）」が第4刷を重ねました。こんなに売れるとはいったい誰が予想したのでしょうか！ おかげでホネホネ団の予算もできました。第2巻は組み立て編なのですが、諸活動に忙殺されている団長のこと。いったいいつ発行されることやら…。

☆冊子の配布場所は□内を付けてください。☆ 6-6697-6221 大阪府立自然史博物館 和歌山分館 自然史資料館

◎死体(冷凍)の送り先：お申込みは：大阪市東住吉区長居公園1-23 大阪市立自然史